

ケル株式会社	8817-□□□-170S□-F 製品仕様書	No.	SP-2642	版
		日付	2004年7月29日	3

1. 適用範囲

1.1 本仕様書は、ケル株式会社 8817-□□□-170S□-F コネクタについて適用する。

2. 品名オーダーコード

8817 - □□□ - 170 S □ - F

----- F : 鉛フリー対応品

----- メッキ仕様 (接触部金メッキ)

無 : 0.05μm 以上

D : 0.25μm 以上

H : 0.76μm 以上

----- コンタクト形状

S : ストレート

----- コンタクト名 : 170

----- 極数 120 : 120 極 180 : 180 極

140 : 140 極 200 : 200 極

160 : 160 極

----- シリーズ名 : プラグ フランジなし型 (金属フック付)

3. 構造

3.1 構造及び形状・寸法は下図による。

品 名	図面番号	品 名	図面番号
8817-□□□-170S□-F	P39833		

3.2 材料及び仕上

インシュレータ : 66 ナイロン ガラス繊維入り UL94V-0 材 色 : 黒色

コンタクト : 銅合金

コンタクト仕上 : ニッケルメッキ下地 (2~4μm)

接触部 (金メッキ仕上) / 無 : 0.05μm 以上

D : 0.25μm 以上

H : 0.76μm 以上

テール部 / 錫銅メッキ仕上 (2~4μm)

取付金具 : 銅合金

取付金具仕上 : ニッケルメッキ下地 (2~4μm)

錫銅メッキ仕上 (2~4μm)

4. 電気的性能

4.1 定格電流

1 端子につき 0.5A

4.2 接触抵抗

8807-□□□-170□□-□□ コネクタと嵌合させた状態で 25mΩ 以下

4.3 耐電圧

AC 650V、1 分間

4.4 絶縁抵抗

DC 500V、1000MΩ 以上

ケル株式会社

ケル株式会社	8817-□□□-170S□-F 製品仕様書	No.	SP-2642	版
		日付	2004 年 7 月 29 日	3

5. 機械的性能

5.1 コンタクト保持力
コンタクト端に 9.8N の荷重を加えた時、コンタクトが抜けないこと。

5.2 総合挿入抜去力
コネクタの嵌合に際し、以下を満足すること。

極数	総合挿入力 (N)	総合抜去力 (N)	極数	総合挿入力 (N)	総合抜去力 (N)
120	111.7 MAX.	23.5 MIN.	180	167.6 MAX.	35.3 MIN.
140	130.3 MAX.	27.4 MIN.	200	186.2 MAX.	39.2 MIN.
160	149.0 MAX.	31.4 MIN.			

5.3 耐久性
毎時 400～600 回の速度で、500 回挿入抜去後、4.2 項を満足すること。

5.4 耐振性 (MIL-STD-202F METHOD-201A)
コネクタを嵌合し、全振幅 1.52 mm、振動周波数 10 ～ 55 Hz で 3 方向に対し
各 2 時間行い、破損、割れがなく、加振中 1 μ s 以上の断がないこと。(通電電流 DC100mA)

6. その他の性能

6.1 耐熱衝撃性 (MIL-STD-202F METHOD-107G CONDITION A)
下記 1～4 を 1 サイクルとし 5 サイクル実施後、コネクタの挿入抜去に異常のないこと。

	温度℃	時間 min
1	-55	30
2	室温	5
3	+85	30
4	室温	5

6.2 耐食性 (MIL-STD-202F METHOD-101D CONDITION B)
NaCl 5%、温度 35℃ で 48h 連続噴霧後、4.2 項を満足すること。

6.3 耐湿性 (MIL-STD-202F METHOD-103B CONDITION B)
湿度 90～95%、温度 40℃ で 96h 放置後、4.2 項を満足すること。

6.4 半田耐熱性
フローソルダリング：コネクタを基板にマウントし、半田温度 260 $\pm$ 5℃ の半田に基板
上面まで 10s 浸漬後、4.2 項を満足し、コネクタに破損のないこと。

手半田：コネクタを基板にマウントし、コテ先温度 350 $\pm$ 10℃ の半田ゴテ
で 3～4s 加熱後、4.2 項を満足し、コネクタに破損ないこと。

7. その他

7.1 使用温度範囲
-55℃～+85℃ (結露の無いこと)

7.2 本仕様書は、カタログ仕様より優先する。

改訂	年月日	改訂記事	担当	承認	承認	照査	作成
	2007. 6. 12	取付金具仕上追加の為、改版。	阿部	島田			
1					2004. 7. 29	2004. 7. 29	2004. 7. 29
2							
3					島田	北村	東(由)
4							